

調査・研修等計画届出書

令和 4年 9月26日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次 ㊦

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 4年10月12日から10月14日まで（2泊3日）	
調査先・研修名	長崎県長崎市（第84回 全国都市問題会議）	
会場名（会場所在地）	長崎県長崎市 出島メッセ長崎	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	第84回 全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～ 第1日 10月13日（木） 基調講演・主報告・一般報告3件 第2日 10月14日（金） パネルディスカッション・行政視察	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・宮菫伸仁・高島淳・柴田利勝・三木雪実 長江公夫・富田宗一・小澤勝・西本潤・朝井賢次	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 4年 11月 10日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次 ㊟

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和4年10月13日から10月14日まで（ 1泊 2日）
調査先・研修名	第84回全国都市問題会議
会場名（会場所在地）	長崎県長崎市 出島メッセ長崎
調査・研修の目的	第84回 全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～ 第1日 10月13日（木） 基調講演・主報告・一般報告3件 第2日 10月14日（金） パネルディスカッション・行政視察
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
10月13日 基調講演 民間主導の地域創生の重要性 株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼 CEO 高田 旭人氏 1 ジャパネットと地域創生 ジャパネットは36年前よりテレビ、チラシ、カタログ等様々な媒体を使い通信販売事業を行っており、コロナ禍の巣ごもり需要も手伝い業績は鋭角の右上がり成長を遂げている。企業として2017年より長崎のプロサッカーチーム「V・ファールン長崎」の運営を始めたことをきっかけに、地元を盛り上げていきたい気持ち	

が強くなっていったとの事である。現在当社は通信販売事業に並ぶ2本目の柱として、スポーツ、地域創生事業を掲げている。そして2024年開業を目指し、長崎駅前にスタジアム・アリーナや商業施設、ホテル等で構成するまちづくり「長崎スタジアムシティプロジェクト」を進めている。

2 行政と民間の役割について

長崎を盛り上げていきたい気持ちは行政も民間企業も同じであるが、行政は市民誰一人として取り残さないような配慮が必要であり、施策に対し公平公正が必須である。一方企業は、良いと思ったことを自らリスクをとる事で最短の意思決定により取り組んでいくことができ、かつステークホルダーの利益のために公にまい進していくことができる。今回の取り組みは決して観光客のみに向けてではなく、地元の子育て世代や高齢の方まで幅広い年代に向けたものであり、地元の方に長崎の可能性をもっと信じてほしいとのメッセージを発信することも重要な目的の一つであるという。

3 民間企業として行政に期待すること

ジャパネットが目指す長崎の地域創生を展開していくにあたり、民間企業だけでは解決できない問題も多々出てくる。例えば長崎スタジアムシティ周辺の渋滞への交通網対応や稲佐山間のロープウェイの連結等はジャパネットではできないので「地域を活性化させるという同じゴール」を共有して、官民一体となり理想の地域創生を実現していきたいとの事であった。

主報告

長崎市の魅力あるまちづくり 長崎市長 田上富久

はじめに長崎市の概要、交流の歴史の説明があり、後に「時代の変革に」として近年の変化{主に新型コロナウイルス感染症の対応と働き方改革}に即した対応の事例紹介が行われた。今後はポストコロナを見据え人口の多さや経済力の高さといった従来からの価値観のみならず、暮らしやすさ、歴史・文化の深さといった自治体の新たな価値観によって人流を増やしていく必要がある「わがまちの価値を見つける」ことをしていくことが重要ではないかとの説明を受けた。

(1) 価値を見つける (2) 価値に気付く (3) 価値を磨く (4) 価値を生み出す について市長の考えをお聞きし、最後に「交流のなかで価値を見つめなおし、その先にある都会でもない田舎でもないちょうどいい長崎らしい暮らしやすさ＝長崎ライフがより豊かになることで魅力的なまちになっていき、持続可能な地域社会の構築に繋がるものと考えている」と語られた。

(次ページへ)

一般報告

「地域との新しい関わり方・関係人口」について

島根県立大学 田中輝美氏より

「ビジョンを活かしたまちづくり 選ばれる山形市を目指して」として

山形市長 佐藤孝弘氏より

「交流の産業化を支える景観まちづくり」として

一般社団法人地域力創造デザインセンター

高尾忠志より

各事例紹介があり終了。

10月14日

前日に引き続き 出島メッセ長崎にて

パネルディスカッション

東京都立大学法学部教授 大杉覚氏

「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチについて、観光立地型、観光政策型、プラスワン拠点型、移住・定住型、価値実現型といった5通りのアプローチの説明を受け、選び続けられるまちづくりへのヒントとして様々な提案をしていただいた。

ゆとり研究所所長 野口智子氏

人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ「雲仙人プロジェクト」の試みとして、コロナ禍でも何らかの形での出会いができる、といった事例の報告のなかで。「人と人が出会えると新しいことがおきる。いい出会い方をするともっといい変化が起こり、これが人を磨いていくと思います」の言葉が印象的だった。

山梨大学教授 田中敦

ワーケーションの意味の拡張と変異として「ワーケーションの発祥と国内での知名度の高まり」「日本型ワーケーションの出現と分類」「日本型ワーケーションの拡張と変異」についてそれぞれ説明を受け、後にパネルディスカッションを行い相互質問で課題抽出を行い、課題を共有した。

出島メッセを辞し、行政視察で長崎大学熱帯医学研究所を視察

(次ページへ)

感想及び所感

ジャパネット社長の基調講演を拝聴する中で、若くて優秀な経営者が地域の未来を熱く語る姿は爽快感と活力にあふれ聴いていて胸が熱くなった。総工費何百億というビックプロジェクトは業績好調な企業であってもかなり大きなリスクがあるが、必ず成功させ成功事例を長崎から全国に横展開していきたいという姿勢は周囲からの理解、協力も増えていくのだと感じた。民間のビジョンを行政が理解共有し、連携していく事で「市民福祉の向上と地域活性化」に繋げていく良いロールモデルであると考え、大いに本市の参考になった。

日本は2000年代に入り人口減少社会となり労働人口の減少や地域経済の衰退など様々な課題に直面している。そんな中、本市においても人口の維持や持続可能なまちづくりを念頭に様々な施策を展開しているが、新型コロナウイルス感染症が発生し、市民が会う、集まるといった当たり前の日常が奪われてしまった。その反面オンライン会議やテレワークの普及が加速した結果、勤労世代の地方移住の動きなどが散見されちょうどいい田舎を抱える本市にとっても現役世代増加への一縷の光明になったのではと考える。今回の会議に参加し、都市が持続的に発展していくためには広い視野で市民と地域の様々なかかわり方を実現していくことが必要であり、本市の地理的条件や地域資源といった「瀬戸市の個性」を活かした魅力あるまちづくりに取り組み、地域外の方も継続的・定期的に訪れる機会を創出するための方策を検討、実現することが重要だと感じた。 以上

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jordan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 12	中部国際空港	飛行機	片道	熊本空港	603	km	31,640	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
日付	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	ANAクラウンプラザホテル長崎				095-818-6601		円		
備考欄									

31,640 円

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 13						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	ANAクラウンプラザホテル長崎				095-818-6601		円		
備考欄									

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 14	長崎駅ターミナル	バス	片道	長崎空港		km	1,000	円	円
	長崎空港	飛行機	片道	中部国際空港	671	km	34,240	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

パック等による割引など

小計 35,240 円

5,190 円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

66,880 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

61,690 円